

令和3年6月臨時記者会見

【説明】

〔ワクチン接種のスケジュールと取組・ワクチン接種業務に携わる医師看護師募集〕

市長 高齢者向け新型コロナウイルスワクチン接種について、7月未完了に向けた具体的なロードマップとそれを実現するための具体的な取組等を整理しましたので発表します。

高齢者の8割が接種希望すると想定すると、7月末までに約57,000回の接種が必要になります。それに向けて、まず、集団接種（土日）は、2会場から3会場に増やし、約13,500回とします。また、平日は、公募しました医師等の協力により、6月9日から生駒駅前コミュニティセンターで1日300回、16日からは北コミュニティセンターはばたきで1日450回接種し、合計で約26,300回接種する見込みです。市立病院では4月19日から接種を始めていますが、6月2日から1日の接種数を40回から60回増やし、約4,300回接種します。市内4病院につきましては、既に5月24日から白庭病院で接種が始まっており、その他の病院につきましても、6月上旬から順次開始し、合計3,800回接種する予定で、接種が順調に進めばさらに接種回数を増やして頂けます。市内の接種可能な診療所は、現在約30か所ですが、3日には診療所向けの説明会も予定しており、今後更に増える可能性があります。診療所では、約9,700回を想定しています。市内30か所の高齢者施設は、介護保険課、高齢施策課と連携しながら、施設と調整を進めていまして、早ければ6月中旬から接種を始めます。高齢者施設の利用者は、約1,300人おられ、約2,600回と、施設の勤務者も合わせて接種する予定です。今後の状況により変動する可能性はありますが、これら全てを合計しますと約60,200回となり、57,000回を上回る接種回数を確保できるものと考えております。

なお、寝たきり高齢者の方に対する接種は、往診をしている診療所などと現在調整中ですが、詳細が決まりましたら後日報告させていただきます。

これらを実現させるために強化した取組みや体制の整備について説明します。まず、独自の取組みとして、医師、看護師の公募を行いました。主に平日の集団接種に従事して頂くということで、医師については、募集人数10人のところ、既に30人応募頂いており、遠方の方を除き、全ての方にご協力して頂く予定をしています。看護師につきましては、20人を募集していましたが、100人以上の応募があり、順次面接を進めているところです。

先ほども申し上げたとおり、集団接種の増加については、平日も開始するとともに、土日の会場を2から3に増やしますが、医師、看護師にたくさん応募して頂きましたので、今後も会場の追加や、接種回数を増加させたいと考えています。市内の病院での接種につきましても、生駒市立病院、白庭病院では既に接種を開始していますが、安全性を確保しつつ、接種枠を拡大していきます。診療所につきましては現在約30か所にご協力頂いていますが、3日に説明会をし、今後追加でご協力いただけたらと思います。高齢者施設では、6月中旬以降、準備が整った施設から順次接種を行います。なお、生駒市独自の方針として、国からも高齢者の接種の目途が付けば、各市の判断で接種の枠を柔軟に検討しても良いとの事でしたので、接種の効率性も考慮して、これらの施設に従事している職員の方にも併せて接種をしたいと考えています。これに加えて、障がい者福祉施設や児童福祉施設に入居されている方や職員に優先的に接種します。

現在のワクチン接種の状況を説明します。生駒市では65歳以上について、3つのグループに分けております。

85歳以上は5,600人で、5月23日までに接種の希望を頂いている約3,000人全員に対し、接種日決定通知を郵送済みです。これによって、4月にインターネットで予約をされた方を含め、約3,600人の方の接種予約が完了し、順次接種が進んでいます。今後は、24日以降申し込みされた方への対応のほか、高齢者福祉施設、かかりつけ医、寝たきりなどでご自宅での接種を希望する方に対する予約受付、接種をきめ細やかに進めていきます。

75歳から84歳までは約13,000人で、5月18日に接種申込書を送付し、28日時点で約9,800人、約8割弱の方から申し込みがありました。接種日決定通知書は、31日現在で約2,000人に発送済みであり、今週中には残りの7,800人のほぼ全員に対し発送する見込みです。今後は、毎日約1,000人の方(2,000回の枠)に接種日決定通知書を発送する見込みですので、今週中に申し込まれたほぼ全員に通知ができるものと考えております。

65歳～74歳については、5月28日にワクチン接種券を送付しました。通知に「6月下旬に予約方法をお知らせする」としておりましたが、その後前述のような体制整備や取組の強化により、予約方法のご連絡及び予約受付開始を6月「上旬」までと前倒しします。

なお、生駒市の独自の予約方法で、郵送受付としておりましたが、65歳以上74歳までの方はインターネットを利用される方も多いので、これまでのような郵送による申込みに加え、インターネットによる申込みも受け付ける予定です。

ワクチン接種業務に積極的に取り組んでいく為に、他の業務の見直しを行い、一部を縮小します。特に保健師がワクチン接種業務に従事するため、法令で決められているもの以外の妊産婦・乳幼児向けの教室や育児相談、歩こう会などの業務を7月末まで中止し、ワクチン接種業務に注力します。なお、がん検診や乳幼児健診など法的根拠により実施している事業等は継続して実施します。詳細は、本日から市のウェブサイトなどで周知します。今後も業務の状況次第で、保健師以外の職員、福祉健康部関係の業務以外についても縮小・中止していく可能性がありますのでよろしくお願い申し上げます。

最後に接種のキャンセルなどでの余剰ワクチン接種の優先順位ですが、1番目は、接種券を持っている人のうち、指定する日時に会場まで来ることができる人。次に、接種業務に関係する又は、感染リスクの高い消防士、保健師、ケースワーカーなど市職員。3番目が、市内の保育園・幼稚園・こども園職員、小・中学校の教職員。4番目は、高齢者施設・障害者施設・子育て福祉施設の従事者です。5番目は、集団接種会場にいる医療従事者、運営している保健師以外の職員。最後は、その他の市職員になります。以上、目安として決めておりますが、現場の状況により優先順位が変わることがあります。

なお、生駒駅前南側の市営駐車場ですが、コミュニティセンターでのワクチン接種者については2時間まで無料としています。

【 質疑応答 】

記者 医師、看護師の公募について、募集人数まで絞り込みますか。

市長 医師については、遠方の方以外はほぼ全員協力して頂きます。看護師については、20人のところ107人応募がありまして、勤務のシフトの調整が出来ない方はお断りする場合があります。

記者 応募されている医師はどんな人が多いですか。

市長 医師として一度引退されている人が多いですが、病院の勤務医で休みの日に協力してくださる

方もいます。

担当部長 当初は、引退された方の募集が多かったんですが、インターネットでの募集を始めたところ、若い世代の勤務医の応募も増えてきました。

記者 65歳以下の接種はどうなりますか。

市長 国からも早く接種券を送るように通知はありますが、まずは、65歳以上の接種体制をつくることを優先しています。これが軌道に乗れば、特に基礎疾患をお持ちの方や高齢者施設で働く方も含めて速やかに接種券を送りたいと思っていますが、現時点では時期は、未定です。

記者 7月末までに高齢者の方の接種が完了する目途が立ったということですね。

市長 はい、そうです。

記者 65歳から74歳までの方に接種券を送る時期については、当初の「6月下旬」を前倒しにするとのことで、早ければ今週中ということですが、本当に可能ですか。郵送になりますか。

市長 6月上旬なので、10日頃までには郵送したいと考えています。

記者 これまでの郵送の申込では市が日程等を決めていましたが、インターネットでは接種する日時、場所は希望できるということですね。

市長 はい、そうです。

記者 インターネットと郵送の受付の枠配分は決まっていますか。

市長 まだ決めていません。

記者 医師と看護師は、まだ面接中ということですが、これらの公募による応援なしに7月末まで接種の目途をつけたということですか。

市長 面接等はほぼ終わっています。公募の医師、看護師の協力があることで可能となりました。

記者 公募の医師、看護師の内、何人の方が接種に関わりますか。

市長 医師は応募された全員です。

担当部長 看護師も応募された方にはほぼ全員携わって頂くよう調整をしています。

記者 医師は、予診と接種のどちらの担当になりますか。

市長 基本的には医師は、予診をお願いしたいと考えています。

記者 公募の医師が来なければ、7月末の接種完了は難しかったと考えられますか。

市長 相当困難であったと想定されます。

記者 高齢者施設の接種で、スタッフは市内、市外の区別はつけられますか。

担当部長 居住地の区別はつけません。

記者 対象人数はどれくらいですか。

担当部長 まだ集計していません。

記者 使うワクチンはモデルナ製ですか。

担当部長 現在ファイザー製のみです。

記者 高齢者用として割り当てられているファイザーのワクチンを使用して、高齢者施設職員への接種をすることには差し支えないですか。7月末まで接種できる回数が、57,000回を上回っているから接種できるということですか。

担当部長 高齢者の接種の目途がついているかどうかポイントです。国の方針として、高齢者施設の職員に関しては、高齢者への体制が整い次第実施してもよいとのことですので、高齢者に割り当てられているワクチンを使ってまでとは考えていません。

記者 奈良市では河野大臣の意向を受けて高齢者接種の優先接種の独自順位を決めたということですが、生駒市でも同様ですか。

市長 はい、そのとおりです。余剰ワクチンがあるからということではありません。

記者 これらの独自の優先接種を決められたことに対しての市長のご意見と高齢者施設に従事されている方へのコメントはありますか。

市長 これらの高齢者施設等は、クラスターになるリスクが高いと言われている所で、施設の運営も大変気を使いながらということですので、入所者とそこに従事されている方を含めての接種は感染防止に非常に効果的であると考えています。もう1点は、利用者にだけ接種し、又別にスタッフに接種すると、特に障がい者施設では若い方もおられ、何度も接種に行かなければならないことになり、効率性にも問題がありますし、同時に接種することで効果も上がり、安心して従事して頂けると考えています。

記者 児童福祉施設の利用者は、子どもになりますか。どれくらいの年齢ですか。

担当部長 16歳以上です。

記者 障がい者施設は何歳からですか。

市長 現在使用しているワクチンはファイザー製なので16歳以上ですが、国が対象を12歳以上に拡大すればそれに合わせます。

記者 県内で16歳以上の未成年者が接種する例はありますか。

市長 その件は承知していませんが、こういった施設では、集団生活等もあり感染のリスクが高いので前倒して接種したいと考えています。

記者 今回、スケジュールを定めたということについて、市民の方に対して一言お願いします。

市長 生駒市は、高齢者の接種を、85歳から始めたということで、それ以下の方がいつ頃接種になるのかと心配される意見が多くありました。今回、接種にご協力頂ける方も増えたことで、7月末までにきっちり接種が終えられるスケジュールを組むことができ、今後よりスピードアップできますのでご安心ください、とお伝えしたいと思います。

(その他の質問)

なし

(了)